

61

占領期の日本脳炎対策についての GHQ/SCAP/PHW 文書を用いた考察

杉田 聡¹⁾, 田中 誠二²⁾, 丸井 英二³⁾¹⁾大分大学医学部, ²⁾新潟大学人文社会・教育科学系, ³⁾人間総合科学大学人間科学部

【研究の背景・目的】

日本脳炎 (Japanese B. Encephalitis) は、日本を中心としたアジアにおいて流行しており、戦後に日本に進駐した占領軍にとっては研究蓄積があまりないため予防対策の優先的課題となっていた。昭和21年には「日本脳炎」として法定伝染病に指定された後、1948年(死者数:2620人)と1950年(死者数:2430人)には大流行が観察された。発表者らは、先にGHQ文書の伝染病統計を用いた研究(田中誠二ら:占領期における日本脳炎の発生推移,第71回日本民族衛生学会総会,2006),及び占領期の日本脳炎対策においてキーパーソンとして活動した日米の研究者たちの研究(杉田ら:占領期の日本脳炎対策に関するGHQ/SCAP/PHWの活動についての考察,第114回医史学会総会,2012)を行ってきた。そこで本発表では占領期の日本脳炎対策について連合国最高司令官総司令部公衆衛生福祉局(GHQ/SCAP/PHW)文書の内容を紹介し、その活動の概要を考察する。

【方法】

GHQ/SCAP/PHW文書のうち、Weekly Bulletin(週刊広報)の(Web上で公開済み)、<http://www.rekishow.org/GHQ-PHW/>と、Daily Journal(業務日誌)のMemorandum for Record(記録用覚書)に加え、今回はその他の日本脳炎に関する表題の付いたファイルを検索・整理した。

【結果・考察】

Weekly Bulletinでの検索では、総計146件(1945年:8件,1946年:42件,1947年:38件,1948年:30件,1949年:22件,1950-52年:6件)であった。Daily JournalのMemorandum for Record総計110件(1945年1件,1946年:24件,1947年:29件,1948年:34件,1949年:14件,1950年:2件,不明:6件)であった。その他のファイルには、① Japanese B Encephalitis Vaccine, #1 (1945-48), #2 (1949-50) [PHW00271-272 (国立国会図書館憲政資料室のマイクロフィッシュ番号,以下同様)], ② Japanese B Encephalitis (1945-1948), [PHW00822-827], ③ Japanese B Encephalitis, #2 (1949-1950), #3 (1951), [PHW00827-831], ④ Japanese B Encephalitis in American Soldiers in Korea, [PHW00831-832], ⑤ Policies and Program recommended by the Virus Commission for the Control and Study of Japanese B Encephalitis in Japan in 1946, [PHW00868-869]

各年度の概要は、1945年:PHW予防医学課コンサルタント、Sylvan E. Mooltenによる伝染病研究所の北岡博士への聞き取り、1946年:Mooltenの「Survey Report and Recommendations Concerning Japanese B Encephalitis based on Recent Japanese Investigations (4 January 1946)」と題した報告書、U.S. Neurotropic Virus Commissionの招請、日本脳炎とマラリアを法定伝染病に付け加える指令(SCAPIN 1274-A)、1947年:岡山県における日本脳炎ワクチン接種(約20,000人対象)の計画(1947年6月実施)、Japanese B. Encephalitis Commissionの招請、1947~1950年:日米合同日本脳炎研究機関の設置(伝染病研究所と米軍の第406研究室)、1948年:東京都を中心とした全国的な日本脳炎流行の報告(8月)、1950年:「Japanese B Encephalitis vaccine field trial in Okayama prefecture, Japan」と題した上記の1947年から行われた予防接種効果調査の報告書であった。発表においては各年度・項目ごとのより詳細な検証を行う予定である。

本研究は、学術振興会科学研究費、基盤研究(C)「占領軍公衆衛生福祉局と厚生省との協同・対立に関する考察—GHQ文書による検証—」(研究代表者:杉田聡)の助成により行われた。